

知っておこう、備えておこう。

「武力攻撃やテロなどが発生した時、どうするか」といっても、みなさんには現実の問題として考えることが難しいかもしれません。しかし、このような事態が日本で発生することはない、と言い切れないのが現状です。みなさん一人ひとりが正しい知識を持ち、家族と話し合うなどして日頃から備えておくことが重要になります。いざという時、落ち着いて適切に行動し、あなたとあなたの大切な家族を守ることができるように。

知って 守る

警報が発令されたら、
直ちにお願いしたい行動があります。

※武力攻撃やテロなどの場合には、防災行政無線のサイレンを使用して警報の発令をお知らせします。

安全の確保

- ・屋内にいる場合、ドアや窓を全部閉め、ガス、水道、換気扇などを止めましょう。
- ・屋外にいる場合、近隣の堅牢な建物や地下街など屋内に避難しましょう。

情報収集

- ・警報をはじめ、テレビやラジオなどを通じて伝えられる各種情報に耳を傾け、情報収集に努めましょう。



避難

- ・行政機関から避難の指示が出された場合は、指示に従って落ち着いて行動しましょう。

備えて 守る

いざという時のために、
準備をしておくことが大切です。

備蓄品

- ・いざという時に、すぐ持ち出したり数日間の自足が可能となるよう、飲料水や食品、貴重品、常備薬、衣類などを備えましょう。これらは、地震などの自然災害に対する備えとしても必要です。

訓練への参加

- ・国や地方公共団体などが行う訓練に参加し、万一の事態に備えましょう。



知っていますか? 国民保護法

武力攻撃やテロなどが日本で起きた場合に、国や地方公共団体などが連携して、みなさんの安全を守ることを定めた法律が国民保護法です。平成16年に施行され、正式な名称を「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」といいます。



さらに詳しい情報は、「内閣官房国民保護ポータルサイト」へ。

7月19日に開催された「国民保護フォーラム2006」の内容も、こちらでご覧いただけます。

<http://www.kokuminhogo.go.jp/>